

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330422093	生活科教育法 (2025年度生～)	福江 厚啓			2	選択	1後期

科目の概要

この科目では、戦前戦後の日本における生活科教育思想の系譜、小学校低学年における社会科・理科の廃止と生活科新設の経緯、授業づくりの諸課題等についての理解を深める。また、1、2年生の発達段階に応じた生活科の授業づくりや適切な支援を行うために必要な技能を身に付けることを目指し、実践的に学んでいく。学習指導要領に基づき、指導計画の作成及び学習指導、評価のポイントや、合科的指導のあり方について理解する。また、優れた授業実践報告の分析を通して、生活科の学習指導を行う上で、どのように子どもの学習状況を見取るのかについて考えを深める (DP2)。学習指導案の作成と模擬授業を通して、自ら必要な情報を集めたり思考錯誤したりして、自分の思いや考えを表現する力を養う (DP1・DP3)。さらに、グループワークや模擬授業の事後協議に取り組みすることで、協働的に自他の課題を解決する力を養う (DP1)。

学修内容	到達目標
① 学習指導要領に示されている指導計画の作成及び学習指導、評価のポイントや、合科的指導について理解する。 ② 学習指導案や授業実践報告の分析を通して、生活科の学習指導を行う上で、どのように子どもの学習状況を見取るのかについて考える。 ③ 学習指導案の作成と模擬授業を通して、自ら必要な情報を集めたり試行錯誤したりして、自分の思いや考えを表現する。 ④ グループワークや模擬授業の事後協議において、協働的に課題を解決し、その成果を発表し聞き合いをする。	① 学習指導要領に示されている指導計画の作成及び学習指導、評価のポイントや、合科的指導について理解することができる。 ② 学習指導案や授業実践報告の分析を通して、生活科の学習指導を行う上で、どのように子どもの学習状況を見取るのかについて考えることができる。 ③ 学習指導案の作成と模擬授業を通して、自ら必要な情報を集めたり試行錯誤したりして、自分の思いや考えを表現することができる。 ④ グループワークや模擬授業の事後協議において、協働的に課題を解決し、その成果を発表し聞き合いをすることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	・授業内容を進んで理解しようとし、グループワークで自ら発言をすることができる。 ・模擬授業に主体的・能動的に取り組み、指導案作成や子ども役、事後協議に参加することができる。
	働きかけ力	
	実行力	指導案作成と模擬授業において、自分の考えや思いを伝えたり、試行錯誤したりするなど、粘り強く取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	指導案作成や模擬授業、最終レポート (生活科の学び新聞) において、自分に必要な情報や材料は何かを考え、収集することができる。
	計画力	指導案作成や模擬授業、最終レポート (生活科の学び新聞) において、見通しをもって計画的に取り組むことができる。
	創造力	模擬授業において、自分の思いや考えを具現化するための方法を考え、行動することができる。
チームで働く力	発信力	自分の思いや考えを、グループや全体に対してわかりやすく伝えることができる。
	傾聴力	講義やグループワーク、模擬授業の事後協議において真摯に耳を傾け、相手の考えを理解しようとするすることができる。
	柔軟性	グループワークや模擬授業の事後協議において、自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	
	規律性	授業でのマナーやルールを守り、仲間とともに高め合う配慮ができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：文部科学省 「小学校学習指導要領 (平成29年告示) 解説 生活編」 東洋館出版社、2018年
参考文献や資料は適宜紹介、配布する。

他科目との関連、資格との関連

本科目は学科専門科目の教科及び教科の指導法に関する科目である。生活科の目標や内容について理解した上で、具体的な学習活動の展開や指導方法、評価の仕方に関する技能の基礎を身に付けるものである。
関連資格 保育士、幼稚園教諭、小学校教諭

学修上の助言	受講生とのルール
模擬授業に対して、自分の関心を大事に、計画的に取り組ましましょう。必要な材料や用具等は自分で用意してください。学習指導案の提出および模擬授業の実施は必須です。たとえ遅れても提出・実施できない場合、この科目の単位は取得できません。	・授業中、携帯やスマートフォンはバッグ等に片付け、マナーモードにするか電源を切っておいてください。なお、使用可能な活動もありますので、その際には、教員から説明します。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	0	①		
			②		
			③		
			④		
	小テスト	0	①		
			②		
			③		
			④		
	レポート	50	①	✓	
			②	✓	
③			✓		
④					
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①			
		②			
		③	✓		
		④			
社会人基礎力（学修態度）	20	①			
		②			
		③			
		④	✓		
総合評価割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>①最終レポート（生活科で学んだこと新聞と最終版指導案）：講義と模擬授業での学びを関連させて新聞に表現し、指導案に具体として反映していればA、その中で、生活科の教科の本質を十分踏まえることができている等優れている場合はS。</p> <p>②対話カードと最終レポート（生活科で学んだこと新聞）：生活科における「気づき」を理解し、子ども理解を踏まえていればA。その中で、気づきの質を高める支援に言及できている等優れている場合はS。</p> <p>③学習指導案と模擬授業：初版指導案の作成と模擬授業の実践を通し、入念に準備し自分の考えや工夫を具体化できているればA。さらにその中で顕著な工夫が見られるものがあればS。</p> <p>④グループワーク・模擬授業・事後協議の参加度：他者の意見を尊重しつつ、積極的に自分の意見を発信し、かつグループ内の意見を集約できればS、他者の意見を傾聴し、これを踏まえて自分の意見を発信できればA。</p>	<p>①最終レポート（生活科で学んだこと新聞と最終版指導案）：講義と模擬授業での学びいずれかを新聞に表現し、指導案に具体として反映していればB。提出されればC。</p> <p>②対話カードと最終レポート（生活科で学んだこと新聞）：教師の姿勢や具体的支援に言及していればB。自分が大切にしたいと考えたことが書かれていればC。</p> <p>③学習指導案と模擬授業：初版指導案の作成と模擬授業の実践を通し、自分の考えや工夫を具体化できているればB、提出・実践できればC。</p> <p>④グループワーク・模擬授業・事後協議の参加度：自分の意見を言語化できればB、自分の意見をもつことができればC。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーションを通し、この科目の進め方や成績評価等について理解する。 ・前期「生活科研究」を振り返って、生活科で大切にしたいことを考える。 ・生活科教科書を参照し、模擬授業で実践したい単元について考える。	講義・質疑応答	・生活科の学習指導の特質、学習の進め方のポイントについて考えることができる。	(予習) テキストを読んでおく (復習) 生活科の学習指導の特質、学習の進め方について自分がとくに大切にしたいポイントについてまとめる。 ・授業で学んだことをふまえ、自分の考えをまとめる。	180	主体性 傾聴力 規律性
2	講義を通して、生活科新設の経緯と生活科教育思想の系譜について理解する。	講義・質疑応答 グループワーク	生活科新設の経緯と生活科教育思想の系譜について理解することができる。	(予習) テキストを読んでおく (復習) 授業で学んだことをふまえ、自分の考えをまとめる。改めて作成したノートを精読し、把握しておく。	180	主体性 傾聴力 規律性
3	教材研究、指導計画立案について理解する。	講義・質疑応答 グループワーク	・教材研究とは何をすることかを具体的に理解している。 ・指導計画立案のなかめである「単元名」について、自分なりに考えて表現できる。	(予習) テキストを読んでおく (復習) 授業で学んだことをふまえ、自分の考えをまとめる。改めて作成したノートを精読し、把握しておく。	30	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性
4	授業展開、評価について理解する。	講義・質疑応答 グループワーク	教材研究、指導計画立案、授業展開、評価を通し、生活科で大切にすべきポイントを理解している。	(予習) テキストを読んでおく (復習) 授業で学んだことをふまえ、自分の考えをまとめる。改めて作成したノートを精読し、把握しておく。	30	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性
5	生活科授業づくりにおける「気付き」について理解する。	講義・質疑応答 グループワーク	生活科における「気づき」(知識・技能の基礎)と他教科等における「知識・技能」との違いについて理解している。	(予習) テキストを読んでおく。 (復習) 授業で学んだことをふまえ、自分の考えをまとめる。改めて作成したノートを精読し、把握しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 傾聴力 柔軟性 規律性
6	生活科授業づくりの様々な課題について理解する。	講義・質疑応答 グループワーク	他教科と異なる生活科の教科特性について理解している。	(予習) テキストを読んでおく (復習) 授業で学んだことをふまえ、自分の考えをまとめる。改めて作成したノートを精読し、把握しておく。	180	主体性 実行力 計画力 創造力 発信力
7	・生活科の目標と内容を通読し、概要を理解する。 ・模擬授業で実践したい単元を決める。	講義・質疑応答 グループワーク	・生活科の目標と内容を通読し、概要を理解している。 ・模擬授業で実践したい単元を決めることができる。	(予習) テキストを読んでおく (復習) 自分が実践したい単元を決定し、その目標と内容を精読する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性
8	生活科学習指導計画の作成について理解する。 ・指導案の作成例を精読し、自分の実践したい単元を当てはめて考えることを通し、指導案の作成の仕方について実践的に理解する。	講義・質疑応答 グループワーク	指導案作成に見通しを持つことができている。	(予習) テキストを読んでおく (復習) 自分が実践したい単元の具体的な内容や方法について考えておく。	180	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	指導計画の作成、質問教室① 実施単元や展開の大枠を決定する。	講義・質疑応答 個人/グループワーク	指導案作成にあたり、実施単元や展開の大枠を決定することができる。	(予習) 自分が実践したい単元の具体的な内容や方法について考えておく。 (復習) 特に導入の仕方について具体的な工夫を考えておく。	180	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性
10	指導計画の作成、質問教室② 展開の詳細、発問等を吟味する。	講義・質疑応答 個人/グループワーク	初版指導案を期限までに作成し提出することができる。	(予習) 導入の仕方について具体的な工夫を考え、指導案に反映しておく。 (復習) 生活科学習指導案「①初版指導案」を提出し、模擬授業に使う道具や資料を準備しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性
11	学生による模擬授業の実施と反省、評価① (1学年) ・10分間の模擬授業と5分間の事後協議をおこなう。	模擬授業 事後協議	模擬授業に参加し、授業展開や事後協議の充実に寄与しようとしている。	(予習) 授業者は実践の準備をする。授業者以外は指導案に目を通してしておく。 (復習) 自他の実践からの学びをもとに初版指導案を修正し、最終版指導案に反映する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力
12	学生による模擬授業の実施と反省、評価② (1学年) ・10分間の模擬授業と5分間の事後協議をおこなう。	模擬授業 事後協議	模擬授業に参加し、授業展開や事後協議の充実に寄与しようとしている。	予習) 授業者は実践の準備をする。授業者以外は指導案に目を通してしておく。 (復習) 自他の実践からの学びをもとに初版指導案を修正し、最終版指導案に反映する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力
13	学生による模擬授業の実施と反省、評価③ (2学年) ・10分間の模擬授業と5分間の事後協議をおこなう。	模擬授業 事後協議	模擬授業に参加し、授業展開や事後協議の充実に寄与しようとしている。	予習) 授業者は実践の準備をする。授業者以外は指導案に目を通してしておく。 (復習) 自他の実践からの学びをもとに初版指導案を修正し、最終版指導案に反映する。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性
14	学生による模擬授業の実施と反省、評価④ (2学年) ・10分間の模擬授業と5分間の事後協議をおこなう。	模擬授業 事後協議	模擬授業に参加し、授業展開や事後協議の充実に寄与しようとしている。	予習) 授業者は実践の準備をする。授業者以外は指導案に目を通してしておく。 (復習) 自他の実践からの学びをもとに初版指導案を修正し、最終版指導案に反映する。	180	主体性 計画力 傾聴力 規律性
15	模擬授業全体を通じての全体振り返り、まとめをする。	ディスカッション 聞き合い	生活科の授業づくりにあたって、自分が大切にしたいことについて述べることができる。	(予習) ノートを読み返し、これまでの授業内容を振り返っておく。 (復習) これまでの授業で学んだことをもとに、まとめのレポート(生活科で学んだこと新聞)と最終版指導案を作成し、期日までに提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力